

ティーチング・ステートメント

所属 工学部 機械工学科

名前 太田 佳樹

作成日 2023年3月22日

【責任】

工学部機械工学科に所属していて、機械の構造評価・設計に関わる専門科目をはじめ、卒業研究、就活関連の授業科目・イベント等を担当している。そして、卒業研究指導のための研究室担任をはじめ、3年生のクラス担任業務を持っており、学部生の学修指導だけでなく、ゼミ生の研究指導、就職指導をはじめ、更には各企業人事担当との連絡役の役割も担っている。

【理念】

社会において人として生きていくためには、単に知識としての学問だけでなく、学問を学ぶことによって自分がどのように物事を捉え考えて、どのように解決できて、そして実践できるようになることが必要不可欠と考えている。

その理念実現のため、社会で生活するためには自分がどうあるべきかを常に考えさせながら、『なるほど感』を感じさせながら学問を学ばせたいと強く意識しており、その『なるほど感』から積極的な行動が出来るようになり、社会で生きている力を自ら会得できるのでは強く感じている。

【方針・方法】

このような理念に基づき、私の教育活動では「謙虚な姿勢で学べる環境の提供」、「人と関わりながら生きていることを実感できる学修環境の提供」を教育方針として捉え、その実現のためのいくつかの方策を試みている。

具体的には、単に大学内における教育だけでなく、自分自身企業の方をはじめ、高校教員、教育に関わる各種研究活動等との連携教育にも強い関心を持って進めている。

「謙虚な姿勢で学べる環境の提供」

- ・わからないことをわからないと謙虚に言え、自分が理解した時に『なるほど』と感じことが非常に重要であって、それを体感できるような雰囲気作り、授業の進め方に注意を払う。

- ・授業の構成においては、教科書の内容をそのまま教えるのではなく、関連した知識等と結びつけながら、『なるほど』と納得させるように学科カリキュラムに合った内容に再構成して授業を展開する。

- ・授業時間においては、常に学生の反応に注意を払い、どこがポイントになるのか、どこが理解が難しいかを常にフィードバックしながら授業を実施する。

「人と関わりながら生きていることを実感できる学修環境の提供」

- ・授業においても、ゼミ活動においても、教員だけでなく常に大学外の人との関わりを意識させような仕組みを取り入れるようにしている。例えば授業においては、講演会形式ではなく、一方、卒業研究においては、共同研究先との進捗状況報告会に参加させることで何か大切なのか、どうすれば良いのかを一緒に考える機会を提供している。

- ・専門知識を学ぶために専門的な企業人と交流するだけでなく、社会で生活していくための考え方などを、例えば就活関連の授業やセミナーにおいて、企業の方と交流させること

により、常に社会の中でも自分の存在を意識させるように仕組んでいる。

【成果・評価】

- ・授業の評価においては、時代の変化に対応すべく、自分の考え方や経験だけでなく、授業改善アンケートの、特にコメントの意見に耳を傾けるように心掛けている。
- ・卒業研究においては、単に研究の成果だけでなく、そのプロセスや学生の考え方の変革にも配慮して指導している。また、他学科、他大学をはじめ他の研究機関と共同で卒業研究を進めることにより、学生のモチベーション維持に関心を払っている。
- ・在学時だけでなく、ゼミ OB 会主催の OB・OG 会開催を積極的に推し進めたり、就活イベントへ卒業生を招聘したりして、卒業後も連絡を取り合うことにより、長期的に見た自分の教育成果を評価している。

【目標】

- ・学生の教育を担当するのはもちろんのことではあるが、共同研究先のエンジニア、企業の人事担当者と情報共有を図ることにより、広い意味での教育活動を推し進めたいと考えている。
- ・リモート授業ツールの活用等をはじめ、ポストコロナ時代の学生の意識変化を考慮した教育の進め方を考えていきたい。